



2012-2013 ガバナー月信

国際ロータリー第2690地区(鳥取・島根・岡山)

Governor's Monthly Letter

Vol. **10**

2013.4.1



「Places」 津上みゆき

(大原美術館所蔵)



Peace
Through Service

2012-2013年度

国際ロータリー会長 田中 作次

国際ロータリー第2690地区(鳥取・島根・岡山)

2012-2013年度ガバナー 森田 昭一郎

CONTENTS

- 2 ガバナーメッセージ
雑誌月間によせて
- 3 雑誌・広報委員会の取組み
～各クラブアンケート結果報告～
- 4 青少年交換プログラム 中四国3地区合同オリエンテーション報告
- 5 米山学友会 第8回総会及び米山記念奨学生歓送会報告
- 6～7 RI2690 地区 WCS 事業報告 ～倉吉RC～
- 8～9 RI2690 地区 WCS 事業のその後 ～高梁RC～
- 10～13 新地区補助金活動報告
- 14 第8・第9グループ IM 報告
- 15 第3・第4・第5グループ IM 報告
- 16～17 地区だより (2月)
- 18 出席報告 (2月)

ガバナーメッセージ

雑誌月間によせて

国際ロータリー第2690地区ガバナー

森田 昭一郎



皆さんもご承知のように「ロータリーの友」誌の購買は、会員資格を保持する為の義務とされています。現在の世界の在り方は年々その変化のスピードを増していきます。「去年の事はすでに遠い過去であり、明日は目の前に迫ってくる」、そんな目まぐるしい世界に私達は生きています。そして今、よりよい暮らしを獲得する為には自分を取り巻く世界の在り方を熟知する事が必須となります。

地球環境、経済、食材、水、エネルギー等生きていく為に必要な知恵を身につけ、高品質の生活を手にする事が出来れば、それは生きるに値する世界に自分を置く事になるはずです。その為には多岐に渡っての実践的な情報を得る事が必要となります。それは色々な形のメディアから取り込んでいくのですが、もっとも普遍的な情報獲得手段の一つが、実は「ロータリーの友」であるのではないのでしょうか。あらゆる年代のあらゆる職業の、そしてあらゆる国の人々が極めて前向きで真摯な話題を提供してくれる、それが「ロータリーの友」

の実体であると思います。

RIが公認している「ロータリー地域雑誌」として「ロータリーの友」は私達に様々な生活の場面、深く心に刻み込まれる場面、そして次の世界を担っていく新しい世代の有様を私達に知らせてくれます。

現代の情報世界ではビジュアルで必要な情報を取り込むという事を私達は生活習慣として行っています。

したがってスピードの遅いペーパーからの情報は次第に生活から遊離し、脇に置かれてしまうのが常になりました。それは時代の流れで致し方ないのかもしれませんが、極めて有用な情報を頭の中に整理しながらしまい込んでいく為には、刹那的な情報手段よりは幾度も繰り返し確認作業の出来るペーパーの方が優れている一面を持っています。

「ロータリーの友」は私達にとっての終生記憶に残る情報を提供してくれる又とない情報手段であると確信しています。よりよいロータリアンとして成長していく為の大切な糧ではないのでしょうか。



『SAKUJI』 作戦とは

会員増強達成のために『サクセス ジャパン作戦』(SAKUJI 作戦)を行う事

国際ロータリー理事会は2015年6月末までに会員数を130万人にする決議を致し、本年を初年度として純増3%を掲げました。初年度の田中作次 RI 会長は、日本の責任として1万人を達成したいと要望をされました。

そして会員増強を達成するため、サクセス・ジャパンからSAKUJI(田中作次会長の名前をもじられています)、と命名された作戦です。



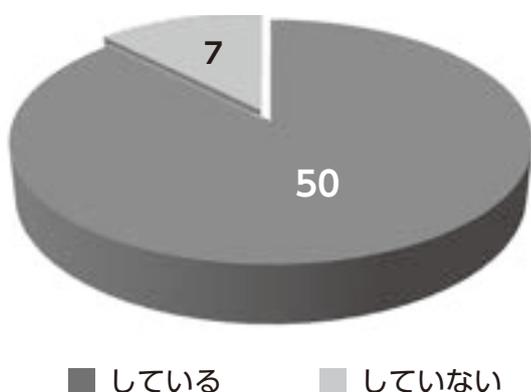
雑誌・広報委員会の取組 ～各クラブアンケート結果報告～

雑誌・広報委員会 委員長 木谷 臣住

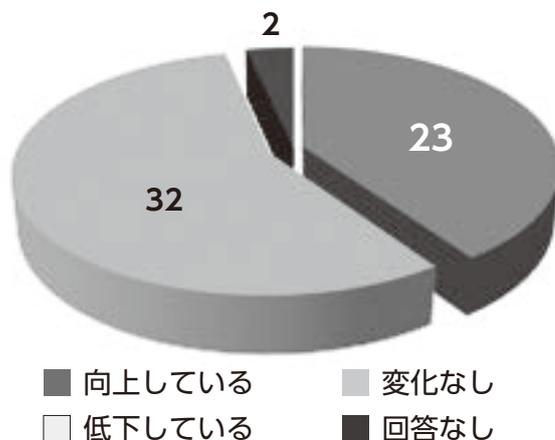
第2690地区「ロータリーの友」読書率アンケート 集計結果

- 1、実施期間 2月上旬～2月18日
- 2、調査方法 メール・FAXによる調査・回答
- 3、対 象 67クラブ
- 4、回 答 率 約75%

Q1 毎月の例会で「ロータリーの友」読書感想の発表 または 紹介をされていますか？



Q2 貴クラブで「ロータリーの友」誌の読書率についてお伺いします。



第2690地区「ロータリーの友」読書率アンケートにご協力を頂き誠に有り難うございました。

Q1では「ロータリーの友」を毎月の例会で読書感想の発表又は紹介していると回答を頂いたのが、67クラブ中50クラブ（75%）と会員の皆様の配慮を頂いた結果だと思われます。

以下に述べますのは50クラブの主な友誌の内容紹介です。

- ・主に新入会員を事前に指名し意見や感想を述べて貰う。(浜田RC・出雲南RC・松江東RC・岡南RC)
- ・広報委員長・雑誌委員長・その他委員や会員を指名で紹介し意見交換をしている。(46RC)

Q2では「向上している」と回答があった23クラブは、向上しているとの認識はある様ですが、決定的な向上策に繋がる施策までには至っていません。しかし、一部の意見ですが確実に向上する結果に繋がっている様子も見られるので紹介します。

- ・自クラブ会員の投稿や自地区の記事等が掲載される。(倉敷南RC・米子RC・鳥取RC・岡山城RC・出雲RC)

ま と め

Q1「ロータリーの友」紹介について、出来るだけ多くの会員の皆様の意見や感想を披歴する道具として、利用していただければ良いのではと思っています。そこには、絶対正しいというものはありません。各会員様の意見や感想を求める場合でも、事前にテーマを絞り込んで置くと、尚、深堀が出来るものと思われます。

Q2ではこれという具体策が見いだせませんが、「ロータリーの友」をより私達に近い存在にすると、興味も出てくる事になるので、誌面の一部に地方版のスペースを作り「地区・地方別」に記事をお願いし、実現できれば読書率の向上に繋がると考えています。

Q3今回ご意見・ご希望を多く頂いており、又あらためて各クラブ雑誌広報委員長へメール等で報告します。

当アンケート結果報告が、各クラブの今後の活動運営に役立てられます様、よろしくお願い申し上げます。皆様のご協力に感謝致します。

国際ロータリー青少年交換プログラム2012-2013年度 中四国3地区合同オリエンテーション報告

地区青少年交換委員長 垣内敏彦

平成25年2月16日(土)、17日(日)の両日、倉敷シーサイドホテルにおいて「国際ロータリー青少年交換プログラム中四国3地区(第2670地区、第2690地区、第2710地区)合同オリエンテーション」が開催されました。当日は主管地区である第2670地区の木村大三郎ガバナーをはじめ、各地区の青少年交換委員、派遣予定学生(Outbound)、受入学生(Inbound)、及びRotex約50名が参加しました。

講師には若林洋一先生、鬼丸昌也先生および根木佳織先生をお迎えし、2012-13年度のRIテーマである“奉仕を通じて平和を”を中心に、国際ロータリーの奉仕活動への取り組み、カンボジアでの地雷や不発弾除去、ウガンダでの元子ども兵の社会復帰、また災害や紛争後の緊急支援活動などについての講演がありました。

また、学生たちは講師の先生方から、海外留学についての心構えや留学先での注意事項、また海外での上手な自己PRのやり方などを教えられるとともに、Rotexからは現地での様々な体験を踏まえた貴重なお話を聞き、これから始まる異国での生活に夢を馳せながら熱心にメモをとっていました。

夕食後に行われた自己PRの時間では、日本舞踊や書道、また得意な歌やダンス、海外で覚えた早口言葉等、すべての学生が自らの得意分野で思いっきり自己PRに努め、集まったすべての人たちから喝采を浴び、大変楽しいひと時を過ごすことができました。

翌日は、受入学生はRotexとともに岡山県の名勝である鷲羽山や備中国分寺、また近代美術中心のコレクションを持つ大原美術館などを見学し、素晴らしい日本の歴史や文化の一端に触れることができました。とりわ



け受入学生にとっては、他地区の学生たちと久方ぶりに母国語で思う存分に会話ができて、友情を育む絶好の機会にもなったと思います。

また、次年度の派遣学生にとっても、日本では経験することのできない海外生活について数多くのことを学ぶ機会を得たことで、海外留学がより身近なものに感じることができたと思います。

これから、「小さな親善大使」として日本と世界との

架け橋になるとともに、今回のオリエンテーションで学んだことを今後の留学に活かし、海外での生活がより充実したものになるように役立てて欲しいと思います。





米山学友会第8回総会及び米山記念奨学生歓送会 報告

地区米山記念奨学会委員長 原 武治

米山学友会第8回総会

3月10日(日)11:30より倉敷アイビースクエア・フローラルコートに於いて開催されました。森田昭一郎ガバナー、伊藤文利評議員、森本信一ガバナー・エレクト、地区役員並びに選考委員の13名、クラブ会長7名、カウンセラー15名、指導教官3名、終了生16名、学友3名、また(公財)R米山記念奨学会から栗原世承子さんをお招きして、参加者は58名でした。

司会は張英恩学友会総務委員長が担当し、森田ガバナーの挨拶、梁榮友学友会会長が欠席のため何曉麗会長代理の挨拶、来賓の紹介、学友紹介・学友会の活動報告がなされました。

何曉麗学友会会長代理から、現在、第2690地区の学友会の登録人数は約70名で、今年度の終了生も学友会に登録されることになり、今後さらに学友会を活性化したい旨、また今年1月から新たに第2690地区のホームページ上に学友会会報の掲示を立ち上げたとの報告がなされました。次年度はさらに学友会の交流が深まり、学友活動が活性化することが期待されます。

最後に(公財)R米山記念奨学会からお招きした栗原世承子さんに「奨学事業の価値は何で決まるか」と題して、パワーポイントによる卓話を戴きました。「米山の学友の皆さんは今後共交流を深めて戴き、そこで育んだ親善・交流という小さな平和を世界の平和につなげて戴きたい。また、米山事業の真の価値は、事業の歴史や規模ではなく、奨学生がどう育ってくれたか、どう育てたかということにあります」と語られ、参加者一同熱心に聞き入りました。12:15に学友総会は無事終了し、写真撮影を行いました。



米山記念奨学生歓送会

学友会総会に引き続き12:35より、第2690地区2013年3月の終了生の歓送会に入りました。この3月の終了生は20名で、県別では鳥取県5名、島根県5名、岡山県10名、国別では9ヶ国^{またが}に跨っています。

司会は原が担当し、森田ガバナーの挨拶の後、森田ガバナーから奨学生へのサティフィケート(終了証)の贈呈、カウンセラーへの感謝状の贈呈が行われました。代表として、鳥取西ロータリークラブの奨学生李亜利さん、米村年博カウンセラーに受け取って戴きました。続いて、何曉麗学友会会長代理が参加できなかった2名の学友からの熱いメッセージを披露しました。

12:50より昼食会に入り、乾杯の発声は井上峰一地区代表幹事が行いました。その後は、本日のメインイベントであるスピーチ・タイムに入り、参加した15の世話クラブのカウンセラー、またはクラブ会長、指導教官、奨学生が、5つに分かれたテーブルごとに登壇し、世話クラブごとに総勢36名が、1時間15分にわたりスピーチをしました。

スピーチでは、世話クラブのカウンセラー、またはクラブ会長、指導教官から、奨学生との心温まる思い出話やエピソードが披露され、参加者に感動を与えました。また、奨学生からは、世話クラブ会長並びにカウンセラー、指導教官の方々に御礼と深い感謝の気持ちが述べられました。続いて、マオ・ティアリーさんを始め学友会3名の挨拶がありました。

その後、しばらく歓談し、皆さん名残り惜しく、いつまでも話は尽きないようでしたが15:00に無事終了し閉会となりました。



RI2690地区WCS事業報告

倉吉ロータリークラブ 国際奉仕委員長 馬野慎一郎



ダバオ西RC建設の託児所前にて 中央の伊藤PDG隣がアントニー会長

私たちは2月6日から10日まで、当地区世界社会奉仕委員会（委員長は延原正PDG）のミッションとして、姉妹クラブであるダバオ西RCと旧交を温めることも兼ね、伊藤文利PDG、八島弘明倉吉RC会長を含む7名でフィリピンを訪問しました。

一昨年の第2690地区大会に、RI会長代理として倉吉に来られた第3860地区PDGサルバドール・アンガラ

氏は、ダバオ西RCと倉吉RCの姉妹縁組のきっかけとなった人で、伊藤PDGの長年の親友です。

今回のプロジェクトは姉妹クラブの絆と友情あればこそ、さまざまな準備の苦勞を乗り越えて、2つの地区と2つのRCの共同事業として実現させることができました。

それは、ダバオ市内の恵まれない子供たちが集まる3つの託児所への補助食糧の支援です。フィリピン国立統計科学研究所による最近の調査報告書によれば、フィリピン家庭の11%が、家族全員の健康と幸福を維持するのに必要な食料品を購入できる収入を持っていません。この慢性的な貧しさが大きな課題となっているのです。

今回我々一行が訪れたダバオは、フィリピン第3の都市として、他の東南アジアの国々と同様に、経済成長の勢いを感じられる一方で、社会の基盤整備が十分ではなく、雨季の増水や台風の災害で、その被害は弱者に重くのしかかり、単に食糧問題に止まらず、将来ある子供達から医療や教育の機会をも奪うことになりかねない一面もあることを知りました。



ダンスで元気に訪問団を歓迎してくれた子どもたち

R12690地区WCS事業報告

今回の世界社会奉仕事業が実施された託児所や、それが所在する地域には、ダバオ西RC（現会長はアンガラ氏の御子息）が温かい支援を継続して行っているとの事でした。

今回2つの託児所を訪問しましたが、子供達がダンスや歌で私達を迎えてくれました。決して大きいとは云えない託児所に、子供達と親御さん、そして我々2つのRCのロータリアンが所狭しと居合せましたが、生き活きと躍動する子供達の姿を私たちは忘れることができないでしょう。

親御さんたちは片親であったり里親であったりで、苦勞も多い事、そしてダバオ西RCとしては地域の水道やトイレの整備、更に将来的には託児所の拡張を計画したいことなどの事情を教えてくださいました。又23年前に倉



23年前に倉吉RCより寄贈されたミシンが大切に使われていた



一般的なランチのお米は政府が、副食は今回の共同奉仕活動で提供



託児所周辺のコミュニティ



食事に感謝をする子どもたち

吉RCが贈ったミシンが今もこの託児所で親御さん達に大切に使われ、生計の一部となっている事実は、長きにわたる交流の産物として私達訪問団の心に響きました。

少子高齢化の進む日本とは対照的に、子どもや若者の比率が高いフィリピン。今後、豊かな国として発展する可能性に満ち満ちています。今回の支援は1年間のプログラムで行われ、子どもたちの栄養状態は科学的に評価され、経過観察される予定です。託児所の子どもたちの明るい未来のためにロータリーが手を差し伸べることの意義を強く感じた5日間でした。

R I 2690地区WCS事業のその後

高梁ロータリークラブ 国際奉仕委員会 仲田 永造

1998年以来高梁・新見ロータリークラブはカンボジア王国タケオ州コッカチャップ村にある高梁 RC の元会長圓山興一氏が寄付した圓山小学校の教育支援事業を行ってきています。支援の過程で圓山小学校の周辺にある村にも少しでも支援の手を伸ばしたいと、02～03年度の武田ガバナーにお願いをしました。

武田ガバナーはじめパストガバナー、ロータリー財団のご理解をいただき、02～03年度から5年間の継続事業で、カンボジア王国タケオ州プライカバス郡の圓山小学校周辺地域で、教育・保健分野の支援事業は、R I 2690地区WCS事業として実施することを認められました。

この結果、現地の人たちから大変感謝される事業を行うことが出来ました。そのWCS事業は、以下の5つの事業です。

1. 高梁サマメトレー小学校建設事業
2. コッカチャップ村での水浄化事業
3. プレイロベア高校ロータリー図書館建設事業
4. ヘルスポスト（小規模診療所）建設事業
5. プレイロベア高校・圓山小学校日本語教室

高梁RCは2013年2月10日第16回目の訪問を行い、今までのWCS事業で行ってきたものの現状を見てきました。

1. 高梁サマメトレー小学校建設事業

高梁サマメトレー小学校は2004年11月23日竣工式典を持ち、それ以後ソロプチミスト高梁により里親制度を始め、圓山小学校と同じように施設の整備がすすめられました。その結果、圓山小学校と同じように、素晴らしい小学校となってきています。

2. コッカチャップ村での水浄化事業

このろ過装置は2004年11月23日に竣工、きれいな水の供給がはじまりました。日本のように蛇口をひねるといくらでも水が使える様な状態ではありませんが、村内各所に給水口を作り、各家庭の水がめに水を供給します。この水により、子供たちの健康状態がどう変わるか、毎年5-6月の2か月間の圓山小学校の健康調査を続けています。

ろ過装置使用前2004年5-6月の延有病者数は150

名、2005年5-6月は60名と半減、2012年5-6月は10名と激減しました。さらに2012年2月にこの装置の維持管理を村に全面移管しました。村人の管理で見事に維持できていることを確認しました。

3. プレイロベア高校ロータリー図書館建設事業

プレイロベア高校は中高一貫校で、圓山小学校の卒業生が進学しています。全校生徒数約1300名、先生は約35名です。図書館は2005年11月22日竣工し、現在まで学生、先生、村人に広く利用されていることを確認しました。また吉備国際大学学友会の支援により、書棚と多数の書籍、扇風機や照明具が寄付され、さらに充実した設備になっています。これからもプレイロベア高校の図書館が、長く学生・先生達に愛され続けると確信しました。

4. ヘルスポスト（小規模診療所）建設事業

コッカチャップ村に2006年11月23日竣工したヘルスポストは現在、看護師2名を中心に5名のスタッフで運営されています。村人の風邪、胃腸炎など一般的な病気の治療や正常な妊娠出産、公衆衛生活動を主な活動として行っています。村の健康維持のために役立っています。建物もきれいに維持されていました。

5. プレイロベア高校・圓山小学校日本語教室

現在も私たちの支援で日本語教室は続けられています。プノンペン大学日本語学科のコンティアさんとベアスナ君2人が現在の先生です。この2人の指導で日本語弁論大会も開催しています。生徒の熱心な弁論大会での発表に感心しました。生徒は1教室で約30人です。

今年の第16回目の訪問で、里子で支援を受けて、卒業した生徒たちの同窓会をしました。30名が集まりそのうち6名がプノンペン大学日本語学科などで、日本の勉強を続けていました。これはWCSで始めた日本語教室がこのような素晴らしい成果を上げたものと感激しました。

R12690地区WCS事業のその後



高粱サマメトレー小学校の歓迎



コックンチャップ村水ろ過装置



プレイロベア高校図書館の内部



ヘルスポストの歓迎



ヘルスポストの外観



日本語教室で発表する生徒

新地区補助金活動報告

身体障害者と保育園児による農作業体験

～さつまいもの植え付けと収穫祭～

岡山城ロータリークラブ

【実施場所】「牧山クラインガルデン岡山市農園」地内（岡山市北区中牧219）

【実施日】2012年7月4日～2012年11月1日

【協力団体】岡山市身体障害者福祉協会（渡辺四郎会長）、ボランティアサークル「どんぐり友の会」（杉田保頼代表）

【受益者】身体障害者と保護者（岡山市身体障害者福祉協会会員）24名と三友保育園園児・職員・保育士 86名

【支出内訳】交通費 大型バス 3台 115,500円、ジャンボタクシー代 2台 30,400円、ボランティア保険 3円
 （【支出内訳】は補助金から支出分のみの記載です）

- 【実施内容】
- ①ロータリークラブの行う地域貢献の一環として身体障害者とその保護者に対する支援を行う。
 - ②身体障害者・保護者・保育園児及びボランティア（どんぐり友の会：約20名）を中心とした、地域での交流・共生の実践を図る。
 - ③身体障害者・ボランティアと私たちロータリアンが参加し、汗を流しさつまいもの植え付けを行い、保育園児と一緒に収穫を喜び、それぞれが「希望と喜びの感動」を肌で感じ、ふれあうことにより、身体障害者・保育園児の人間形成及び心の成長に寄与する。
 - ④共生社会の進展に共感し、助力しているロータリークラブへの理解と信頼を高める事業とする。

【活動模様】



セレモニー



苗の植え付け



収穫風景



吉野川のフラワーロード計画

美作ロータリークラブ

【実施場所】美作市湯郷地区 吉野川河川敷堤防道

【実施日】2012年8月10日～2012年10月16日

【受益者】地元住民と観光客

【支出内訳】芝桜苗2,000P 140,000円

（【支出内訳】は補助金から支出分のみの記載です）

【実施内容】美作市の湯郷温泉を流れる吉野川堤防敷に芝桜の植栽を行いました。水保全・環境保全事業等として看板を両端に設置し、地元関係者に協力を仰ぎ、マスコミを招いて行いました。（10月16日）植栽場所は旅行観光者や地元の方々の散歩ルートでもあり、河川公園には噴水などもある、特に美化運動の象徴的場所です。

【活動模様】



芝桜の植栽風景

新地区補助金活動報告

津山郷土博物館学習用パンフレットの作成・配布及び勉強会の開催

津山ロータリークラブ

【実施場所】 津山郷土博物館及び津山市立東小学校

【実施日】 2012年9月1日～2012年12月5日

【受益者】 津山市内の小・中学生と教員 約6,000人

【支出内訳】 冊子（教師用） 49,875円、冊子（児童・生徒用） 70,875円、デザイン校正費 79,250円
 （【支出内訳】は補助金から支出分のみの記載です）

【実施内容】 9/1より津山郷土博物館の尾島館長にご指導を仰ぎ、社会奉仕・新世代奉仕委員会による、パンフレット作成に取り掛かりました。併せて、博物館デーを開催して頂ける学校として、同館に近い津山市立東小学校を選出しました。12/15、尾島館長を講師に迎え『出前授業』と称し、同校5年生の児童70名を対象に、2校時を掛けて勉強会を開催しました。東小学校の教師・児童にはこの時にパンフレットを配布しました。残りのパンフレットは、今後、市内の小中学校の勉強会を予定している博物館に寄贈し、勉強会の際に各学校へ配布していただく予定です。

【活動模様】



多胡会長挨拶



出張授業



津山郷土博物館



資料保管庫

西緑地公園清掃及び緑の保全活動

境港ロータリークラブ

【実施場所】 鳥取県境港市高松町「竹内西緑地」（県所有地）

【実施日】 2012年9月15日

【受益者】 境港市 弓浜半島 周辺住民

【支出内訳】 雑草処理（運搬）4トン×2台 100,002円
 （【支出内訳】は補助金から支出分のみの記載です）

【実施内容】 境港市民（3万人）が憩う場所の環境保全「竹内西緑地」地域の下草刈り清掃・除去・苗木に肥料注入作業等を計画・実施しました。ここには、2011年1月の大雪被害後に防風林として黒松が植えられています。

【活動模様】



下草刈り作業風景

新地区補助金活動報告

岡山南ロータリークラブ スポーツ・教育フォーラム

岡山南ロータリークラブ

【実施場所】 環太平洋大学 ラグビーグラウンド、大講義室（岡山市東区瀬戸町観音寺721）

【実施日】 2012年9月15日～2012年11月23日

【協力団体】 岡山県サッカー協会 第4種（小学生年代）委員会・キッズ委員会、ELSOL、環太平洋大学

【受益者】 岡山東部地域を中心に岡山県内全域の幼稚園児・保育園児・小学生・中学生 251人とその保護者166名 および県内外の指導者30名と大学生ボランティア242名 合計689名

【支出内訳】 講師謝礼(2名) 260,000円、施設使用料 30,000円、チラシ 18,848円、看板 29,400円、手数料 1,155円
 (【支出内訳】は補助金から支出分のみ記載です)

【実施内容】 9月15日 サッカークリニック・交流戦・講演会、10月20日 キッズサッカーフェス・講演会
 11月23日 講演会

なお、11/23の講演者は風間八宏氏を予定していたが、都合により竹内久米司氏に変更となりました。

【活動模様】



サッカークリニック・交流戦風景

講演

出雲地方の神話と歴史を学ぶ郷土歴史リーダー育成プロジェクト

出雲南ロータリークラブ

【実施場所】 出雲商工会館6F 大ホール、出雲市周辺の出雲神話ゆかりの地

【実施日】 2012年10月6日

【受益者】 出雲市内の児童・生徒 132名

【支出内訳】 交通費 大型バス4台 168,000円、講師謝礼 2円
 (【支出内訳】は補助金から支出分のみ記載です)

【実施内容】 古くから出雲地方に伝わる「ヤマタノオロチ伝説」や「国引神話」など出雲神話は、古事記や日本書紀にも記載されており、ここ出雲は日本の歴史のはじまりの地として大変重要であったことが伺えます。こういったふるさとの神話に触れることの少なくなった昨今の青少年を対象に、まず郷土史家にわかりやすく神話を解説してもらい、その後、伝承地を実際に巡り、ふるさとの歴史を理解し、日本文化の源流を体感してもらうことが狙いです。

内容：市内の小学生、ボーイスカウト、ガールスカウト等に広く参加募集を行い、約200名の参加を見込みました。参加者は午前の部で、専門家より神話についての講義と解説を受け、午後の部ではそれにまつわる伝承の地を巡りました。プロジェクト実施後、子どもたちから収集したアンケートを基にレポートを作成し、参加者および、参加募集に協力してもらった市内各学校へ配布しました。

【活動模様】



講演

伝承の地めぐり

新地区補助金活動報告

鳥取こども学園支援プロジェクト

～藤棚再生 & J2ガイナレ鳥取サッカー教室～

鳥取中央ロータリークラブ

【実施場所】 社会福祉法人 鳥取こども学園（鳥取県鳥取市立川町5-417）

【実施日】 2012年10月13日～2012年11月25日

【協力団体】 株式会社 SC 鳥取（ガイナレ鳥取）

【受益者】 児童養護施設 鳥取こども学園の児童 129名

【支出内訳】 ウッドパーゴラ設置工事 110,002円

（【支出内訳】は補助金から支出分のみの記載です）

【実施内容】 1. 鳥取こども学園敷地内、園児通路に手入れされず伸び放題になっていた藤の手入れと藤棚（ウッドパーゴラ）を寄贈。

2. 地元J2プロサッカーチーム ガイナレ鳥取の選手達によるサッカー教室の開催。

【活動模様】



藤棚再生の様子



サッカー教室



知的障害者と行う地域の交流広場 亀島山

花と緑の丘公園での植栽（知的障害者施設の方との植樹・共同作業）

倉敷水島ロータリークラブ

【実施場所】 亀島山 花と緑の丘公園（倉敷市亀島山1-2）

【実施日】 2012年11月1日～2012年11月14日

【受益者】 地域住民と知的障害者施設 ひまわりの園の生徒15名

【支出内訳】 花苗（ガザニアプリンセス）300鉢 120,780円、土壌掘削及び攪拌 3円

（【支出内訳】は補助金から支出分のみの記載です）

【実施内容】 倉敷市水島のシンボルと言われる亀島山公園ですが、未整備の所が多くあまり知られていません。災害時の避難場所にも指定されているので、地域の方々に広く知って利用していただく為に植樹をし、花の苗を植えました。また、障害者施設の生徒たちと一緒に協同作業で花の苗を植え、水をやり、肥料をまき、交流を深めました。

【活動模様】



植栽風景

第8・第9グループIM 報告 -参加者全員が発言-

第9グループ・ガバナー補佐 滝澤輝治

IM 開催日前日の夕刻、基調講演の講師をお願いしていた延原 正 PG が、インフルエンザで緊急入院となり、小林完治 PG がピンチヒッターというハプニングがありました。第8グループ（真庭・美作・津山・津山中央・津山西 RC）と第9グループ（赤磐・備前・岡山・岡山東・岡山北西・岡山後楽園 RC）の合同 IM が、11クラブから約360名の会員の参加を得て、2月3日（日）午後、ホテルグランヴィア岡山で開催されました。

本年度の地区 IM 統一テーマが「**会員増強**」であり、議論を深める意味で、**合同 IM のテーマを「ロータリーの魅力と会員増強」（基調講演&ディスカッション）**としました。

IM (Intercity Meeting) は、近隣のクラブが合同で開催する会合であり、ロータリーに関する勉強と会員相互の交流・親睦を図ることを目的としています。

そこで今回の IM は、その目的を達成するため、基調講演、**参加者全員の発言**によるグループ・ディスカッション（39のテーブルごと）、11クラブの会員増強委員長による担当テーブルごとの発表、そして、参加者の席は、**他クラブの会員との交流・親睦を図るため**、IM 開会から懇親会閉会まで他クラブの会員と同席する指定席、とすることを企画しました。

小林 PG の基調講演は、「日本のロータリーにとって**会員増強が最重要課題**」、「**会員を増やすには、多くの方々にロータリーのことを知って頂くことが大事**であり、そのためには、**ロータリーの魅力を高める努力が必要**」、「**職業奉仕を実践し、尊敬される職業人になれる**ということがロータリーの魅力」など、大変示唆に富んだ内容でした。

グループ・ディスカッションでは、**＜ロータリーの**



魅力は何ですか?> について、「世代を超えた異業種交流ができ、人的ネットワークが広がる」、「多くのことが学べ、人間として成長できる」、「職業倫理を呼び起こすことができる」、「職業の有用性、公益性を感じさせてくれる」、「奉仕活動を通じて他の地域活動との繋がりが持てる」、「ロータリーの信用」など、また、**＜会員増強のため、地区・クラブは何をすれば良いか?>** について、「ロータリーの魅力をもっと外部に発信する」、「職業奉仕が、ロータリーの最重要な奉仕であることを広く伝える」、「地区で、ロータリーを説明するための共通のパンフレットを作成する」、「クラブの合併推進など、少なくとも50名程度のクラブにして、魅力あるクラブづくりをする」など、**参加者全員の発言による貴重な意見**が出されました。進行役、記録役の会員の皆様には大変お世話になりました。

参加者全員の発言による意見交換や、テーブルごとの**他クラブの会員との交流**は、IM の目的という観点から、概ね好評であったように思われます。

尚、第8・第9グループの各クラブには、小林 PG の基調講演 DVD を2枚、各会員には、IM 報告書を配布させていただきます。「**会員増強**」のために参考にさせて頂ければ幸いです。

第3・第4・第5グループIM 報告

第4グループ・ガバナー補佐 西尾 崇

2月24日(日)、第3(5クラブ)・第4(5クラブ)・第5(5クラブ)グループ合同のIMを出雲市大社町の文化プレイスうらら館で、地区から森田昭一郎ガバナー、井上峰一地区代表幹事、三牧博史随同行幹事をお迎えし、山本茂生パスト・ガバナー、松本祐二ガバナー・ノミニーをはじめ多数のご来賓の方々のご臨席を賜り、また島根県全域の各ロータリークラブから多数のロータリアンにご参加いただき開催することができました。



ガバナー 基調講演

基調講演では、森田ガバナーに「倉敷もんの生き方」という演題でお話いただきました。倉敷という町は、江戸の初期から徳川幕府直轄の町・天領であったそうです。そのため納税の割合も他の町と比べ有利で、豪商も出現し旦那衆が大いに栄えていて、倉敷には、江戸の文化のしゃれ、いきの感覚が残っていたようです。近隣の人々からは倉敷もんと呼ばれて、尊敬されていた呼び方ではないものの、むしろそれを誇りに思っていたようです。その旦那衆といわれる資格ある条件を10か条にまとめて、ユーモアをまじえて面白く話されました。いつものガバナーのお話と違って肩の凝らない講演で楽しく聞かせていただきました。

パネルディスカッションでは、今年度各ロータリークラブがもっとも熱心に取り組んできたと思われる、「会員増強」～RCの公共イメージアップと認知度の向上を考える～をテーマに掲げました。



コーディネーター 和田晶夫 (大社 RC)



西尾第4グループ ガバナー補佐あいさつ

大社 RC の和田会員をコーディネーター、石田実行委員長をアドバイザーとして、第3グループ松江宍道湖 RC から和田ガバナー補佐、幡会員、第4グループ平田 RC から飯塚副会長、園会員、第5グループ江津 RC から山藤会長、原会員がパネラーとして、それぞれ会員増強の現状と認知度向上への活動状況が説明されたあと活発な討論がなされました。またフロアから出雲 RC 木佐会長の追加発言もあり、ご出席の皆様方全員参加という形で有意義な勉強会となりました。

ガバナー講評では、お褒めの言葉とともに今後のロータリー活動について示唆に富んだお言葉を戴きました。その後、次期ガバナー補佐の紹介、ご挨拶を経て式典終了となりました。

閉会後は、島根ワイナリーに移動しました。松本ガバナー・ノミニーの就任に当たってのご挨拶のあと、山本パスト・ガバナーの乾杯のご発声で懇親会開始となり、クラブ、グループを超えての親睦を深めることができました。

今回の IM にあたって、ご参加いただきました全ての皆様方に、心から感謝申し上げます。



パネラー



地区だより (2013年2月)

新会員のご紹介



ロータリー財団への寄付

ポール・ハリス・フェロー



メモリアル・コントリビューションへの寄付

米子RC	白根 一が	亡き妻	白根歌香の為
笠岡RC	廣井恭允が	亡き妻	廣井敬子の為
笠岡RC	長鋪慶明が	亡き父	長鋪明の為
笠岡東RC	長鋪方隆が	亡き父	長鋪明の為

クラブ特別寄付 (年次寄付)

倉吉東RC	11.00ドル	(新入会員寄付)
鳥取北RC	255.00ドル	(その他)
倉敷RC	4341.46ドル	(その他)
倉敷南RC	210.00ドル	(ミリオンダラーミール)
倉敷水島RC	852.27ドル	(ロータリー創立記念日に因んで)
玉野RC	3977.27ドル	
岡山西RC	30.00ドル	(新入会員寄付)

年次寄付にご寄付いただいた方々

松江しんじ湖RC…尾添憲男、高橋満、中井健之
 浜田RC…茶円宥勝、櫛山陽介、螺山郁繁、岩谷百合雄、河田邦美、桑本達夫、小笠原貞信、大草洋、大崎寛、斎藤寛治、佐々木護、佐々木良二、佐々木幸登、島田康夫、高橋功一、浦田明彦、山口博正、矢口伸二、彌重博巳
 笠岡RC…西山義正、堀泰典、谷川篤司
 笠岡東RC…新井善久、池田周二、池田孝、石田官義、恵谷龍二、江原和之、江原公平、大嶋元義、岡辺賢二、岡原稔、小川隆則、越智信子、金子洋方、工藤一郎、頃末謙治、頃末英克、榊原啓士、鈴木紘一、高田慎也、田淵純雄、田主智彦、土屋康文、中務祺九大、長鋪方隆、中新隆、原田俊三、福嶋啓祐、淵野瑛木、牧野真樹、松田重雄、光井伸、棕梨孝草、山本雅夫、吉岡孝恭、大島俊明、三宅達夫、高橋剛吉、奥野千秋、佐藤林平
 新見RC…尾藤嘉記、遠藤彰、角川宣行、小林喜久雄、森和子、中村浩吉、信長充、阪本司郎、柴田政伸、富谷修二、吉岡博
 総社吉備路RC…秋山伸、江本公一、藤井慶祐、藤井映子、福本里志、福谷信行、一坪雅代、池上亮太郎、片岡公省、片岡太郎、茅原健次、小原忠志、源祐一郎、宮本幸男、小原哲也、眞田信典、佐野重治、笹沼靖憲、関靖文、高木裕弘、高北敏明、高見佳久、谷本耕一、友野勤、津高篤、塚原隆弥、植木守、和氣一雄、渡辺英男、薬師寺公一、山本有道、山脇典之、田村謙治
 児島東RC…綾野義高、藤原勝馬、藤原健一、神馬真一郎、北畠和雄、小橋悦夫、森澤英治、三宅八郎、三宅勇臣、永岡健三、中嶋芳郎、西山芳男、岡野努、岡信光、荻野順一郎、谷本茂
 岡山東RC…安藤究真、勘藤晋、児島正和、高橋憲志、浦上澤之
 岡山南RC…梶原康彦
 岡山西RC…坂元徹、蜂谷泰祐



米山記念奨学会への寄付

米山功労者



金山治正 大社 RC 加藤幹夫 大社 RC 室家隆一 大社 RC 小川美樹 大社 RC 手銭盛隆 大社 RC 吉田治郎 岡山中央 RC

クラブ普通寄付

倉吉RC.....145,000円
 米子中央RC..... 66,000円
 松江南RC.....162,500円
 大社RC.....120,000円
 浜田RC.....135,000円
 倉敷東RC.....100,000円
 津山RC.....225,000円

クラブ特別寄付

笠岡東RC.....21,000円 (米山ランチ)
 岡山中央RC...128,100円 (米山BOX)

特別寄付をいただいた方々

米子中央RC.....安本辰雄、長尾和正、黒田博、辻田哲朗、田端修、橋本晴人、伊達真奈美、福元儀智、都田修史、松澤弘一、高塚建二、安部喬樹、国頭芳夫、播間和雄、杉原譲、魚谷純、高橋直樹、吉田登志子、河上剛、浅中誠、細谷洋一郎、中村暢宏

訃報

謹んで哀悼の意を表し、ご冥福をお祈りします。



根平 武雄 会員
(境港 RC)

2013年2月11日ご逝去 (享年105歳)
 1981年4月4日入会
 (応用微生物研究所 所長)
 職業分類: 応用微生物
 2005年11月13日
 2005~06年度地区大会
 [ROTARY 100 PLUS ONE] 受賞
 2009年6月30日 名誉会員へ移行



勝部不二夫 会員
(米子 RC)

2013年2月6日ご逝去 (享年63歳)
 1996年8月2日入会
 勝部公認会計士事務所 所長
 職業分類: 公認会計士
 2006-2007年度 幹事
 2012-2013年度会長
 ベネファクター 1回、PHF 4回、
 米山功労者2回



大畑 実 会員
(益田 RC)

2013年2月3日ご逝去 (享年63歳)
 2004年8月1日入会
 大畑歯科医院 院長
 職業分類: 歯科医師
 2009-2010年度 副会長
 2010-2011年度 会長
 2011-2012年度 副幹事
 2012-2013年度 幹事

文庫通信 (306号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万3千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDF もご利用いただけます。クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

最近の「ロータリー情報」より

- ◎ 「元気なクラブになるために」 桑原 茂 2012 10p (D.2550地区大会記念誌)
- ◎ 「元気なクラブになるために」 小船井修一 2012 14p (D.2550地区大会記録)
- ◎ 「ロータリーがライラに期待するもの」 深川純一 [2012] 6p (第34回青少年指導者育成セミナー報告書)
- ◎ 「品格のあるスマートなクラブ その1-3」 深川純一 2012 3p (純ちゃんのコーナー PartXI)
- ◎ 「全国ロータリー・コーディネーターセミナー 抄録」 2012 6p (D.2500月信)
- ◎ 「12月ロータリー家族月間について」 菅野多利雄 2012 1p (D.2520月信)
- ◎ 「ロータリー財団のあらまし 1ロータリー財団の標語、使命、6つの重点分野2わかりやすいロータリー財団モデル 3新しいロータリー財団」 D.2650 2012 3p (わたし達のロータリー財団 [わかりやすい財団テキスト]) [上記申込先: ロータリー文庫]
- ◎ 「世界からポリオの脅威を救うのは“あなた”です!!」 D.2650 2012 [7p] [申込先: D.2650 FAX(075)343-2651]

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階 TEL (03) 3433-6456・FAX (03) 3459-7506
<http://www.rotary-bunko.gr.jp> 開館=午前10時~午後5時 休館=土・日・祝祭日



出席報告 (2013年2月)

クラブ名	Make-up後出席率(%)	ホームクラブ出席率(%)	例会数	会 員 数				
				7月1日	2月末	内女性会員	増減	
第1グループ	智 頭	77.28	61.37	4	12	11	0	-1
	倉 吉	93.86	75.44	4	56	57	3	1
	倉吉中央	88.64	56.82	4	22	22	2	0
	倉吉東	94.63	65.47	4	41	41	2	0
	鳥 取	99.58	84.35	4	56	62	3	6
	鳥取中央	82.11	77.24	3	41	42	0	1
	鳥取北	86.29	80.71	4	52	51	6	-1
	鳥取西	80.45	71.36	4	54	55	0	1
計 (8)	87.86	71.60		334	341	16	7	
第2グループ	境 港	77.04	65.93	3	41	44	0	3
	米 子	76.64	57.53	3	60	63	2	3
	米子中央	83.57	70.00	4	33	35	2	2
	米子東	79.68	66.14	3	83	85	6	2
	米子南	89.00	70.00	2	50	52	3	2
計 (5)	81.19	65.92		267	279	13	12	
第3グループ	松 江	89.81	70.57	4	66	70	0	4
	松江東	94.76	76.99	4	57	59	0	2
	松江南	87.83	81.72	3	63	65	4	2
	松江しんじ湖	87.00	76.00	3	66	67	11	1
	隠岐西郷	82.29	70.83	4	26	25	0	-1
計 (5)	88.34	75.22		278	286	15	8	
第4グループ	平 田	88.28	80.69	4	36	40	2	4
	出 雲	82.84	71.08	4	48	51	1	3
	出雲中央	88.04	71.74	2	47	46	3	-1
	出雲南	93.99	81.12	4	59	59	7	0
	大 社	87.95	63.41	4	42	49	2	7
計 (5)	88.22	73.61		232	245	15	13	
第5グループ	江 津	78.33	72.50	4	29	30	0	1
	浜 田	93.78	81.55	4	56	55	1	-1
	益 田	96.47	78.82	4	22	21	2	-1
	益田西	89.38	70.80	4	27	28	4	1
	大 田	95.51	84.09	4	23	24	3	1
計 (5)	90.69	77.55		157	158	10	1	
第6グループ	井 原	75.00	68.90	4	47	46	4	-1
	笠 岡	93.90	89.02	4	51	48	0	-3
	笠岡東	90.38	84.62	4	40	39	1	-1
	新 見	80.81	75.76	4	23	25	1	2
	総 社	77.14	69.06	4	38	39	7	1
	総社吉備路	88.33	86.81	4	31	33	2	2
	高 梁	78.03	71.97	3	45	45	3	0
	玉 島	86.03	79.80	4	30	29	1	-1
計 (8)	83.70	78.24		305	304	19	-1	

クラブ名	Make-up後出席率(%)	ホームクラブ出席率(%)	例会数	会 員 数				
				7月1日	2月末	内女性会員	増減	
第7グループ	児 島	75.00	67.50	4	31	31	0	0
	児島東	90.91	84.85	3	22	22	0	0
	倉 敷	98.44	77.34	3	82	89	0	7
	倉敷中央	70.37	70.37	3	17	18	3	1
	倉敷東	95.83	89.17	3	41	40	4	-1
	倉敷南	92.25	67.72	4	65	67	5	2
	倉敷水島	82.54	74.19	3	27	25	0	-2
	倉敷瀬戸内	92.08	74.28	4	34	35	3	1
計 (8)	87.18	75.68		319	327	15	8	
第8グループ	真 庭	81.37	72.85	4	34	33	0	-1
	美 作	93.20	92.52	4	36	38	1	2
	津 山	86.89	72.08	4	88	89	3	1
	津山中央	91.84	87.76	4	26	26	3	0
	津山西	96.00	96.00	3	32	34	4	2
計 (5)	89.86	84.24		216	220	11	4	
第9グループ	赤 磐	70.18	61.40	3	21	20	0	-1
	備 前	70.30	59.11	4	62	66	8	4
	岡 山	91.27	71.58	4	109	112	0	3
	岡山東	88.50	79.28	4	85	87	0	2
	岡山北西	89.80	83.67	3	50	50	3	0
	岡山後楽園	82.27	70.45	4	54	55	0	1
計 (6)	82.05	70.92		381	390	11	9	
第10グループ	岡山旭川	91.35	78.85	4	28	27	1	-1
	岡山中央	84.38	66.12	4	43	41	2	-2
	岡山北	90.75	73.99	4	43	44	0	1
	岡山南	84.01	75.00	3	157	159	15	2
	玉 野	85.00	77.86	4	34	35	0	1
	牛 窓	77.78	77.78	3	7	6	0	-1
計 (6)	85.55	74.93		312	312	18	0	
第11グループ	岡山備南	82.03	72.00	4	34	34	3	0
	岡山城	100.00	92.55	4	26	24	1	-2
	岡山岡南	85.61	71.01	4	29	36	5	7
	岡山丸の内	83.09	75.74	4	33	35	2	2
	岡山西	88.93	71.95	3	77	76	7	-1
	岡山西南	90.50	76.92	4	57	58	4	1
計 (6)	88.36	76.70		256	263	22	7	

地区クラブ内の状況

クラブ数	67RC	
7月1日現在会員数	3,057名	
2月末日会員数	3,125名	
内 女性会員数	165名	
純増	68名	
2月出席率	Make-up後	86.64%
	ホームクラブ	74.96%

表紙説明 津上みゆき View - Cycle 26 Feb.10-Apr.05 《Places》 2005年

1973 (昭和51)年 東京に生まれ大阪に育つ。京都造形芸術大学1期生として、1998 (平成10)年同大学院研究科を修了。
学生時代から、関西を主に個展、グループ展で積極的な活動を行う。2003 (平成15)年「VOCA展2003」でVOCA賞を受賞。2004 (平成16)年大原美術館が作品収蔵。さらに翌年、大原美術館が「若手作家の支援」「大原美術館の礎を築いた児島虎次郎のアトリエ活用」「倉敷からの発信」の3点を機軸として開始したアーティスト・イン・レジデンスプログラムARKO (Artist in Residence Kurashiki, Ohara)の最初の招聘アーティストとして50日間の滞在制作を行う。

津上の制作は、風景を前にして、その姿をとどめることを基本とする。しかし、その瞬間的な相貌をとどめるのとは逆に、数日間にも渡りその風景に身を浸し、視覚のみならず五感でとらえたその風景のありようを統合して絵画とする。倉敷では200号の大作4点の制作が進められ、最初の2点《Way》《Ground》は、その方法で制作が進められたが、3点目《Water》はアトリエが隣接する高梁川やそこから引き込まれる疎水などに触発されて、水の循環する土地のイメージが絵画となる。そして最後に着手された本作品《Places》では、特定の風景に依拠することなく、冬から春へと向かう倉敷の良質な大気の上澄みをそっと画面にとどめるかのような制作が行われた。

国際ロータリー第2690地区
2012-2013年度地区 テーマ

「tsu ku su」

一家庭人として 社会人として 日本人として



国際ロータリー第2690地区 2012-2013年度 ガバナール
森田 昭一郎

〒710-0824 岡山県倉敷市白楽町249-5 倉敷商工会館3F
TEL 086-421-2690 FAX 086-421-2691
E-mail: info@rid2690.gr.jp